

日本統計学会各賞受賞候補者の推薦募集

西郷 浩（日本統計学会理事長）

日本統計学会制定の以下の各賞の受賞候補者の推薦を募集します。

第 23 回 日本統計学会賞

第 14 回 日本統計学会統計活動賞

第 14 回 日本統計学会統計教育賞

第 12 回 日本統計学会研究業績賞

第 11 回 日本統計学会出版賞

いずれも推薦期間は2017 年 12 月 11 日（月）から 2018 年 3 月 30 日（金）と致します。推薦書の書式は全て学会ホームページ（<http://www.jss.gr.jp/society/prize/>）からダウンロード可能です。推薦書は各賞とも全て以下への郵送をお願いします。封筒に「～賞推薦書在中」と朱書きして下さい。不明な点は学会事務担当者にご照会下さい。

〔宛先・照会先〕

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5F

公益財団法人統計情報研究開発センター内 日本統計学会

TEL&FAX : 03-3234-7738 E-mail : shom@jss.gr.jp

以下に各賞共通の規程並びに各賞個別の概要をお示しします。

○各賞共通

〔受賞対象〕

各賞受賞の対象となる者は、その年齢、性別、国籍、日本統計学会の会員・非会員の別を問わない。

〔推薦方法〕

推薦者は各賞所定の書式に従って推薦する。各賞受賞候補者を推薦することができる者は、日本統計学会の正会員、名誉会員に限る。

〔選考方法〕

各賞受賞対象者の選考は、日本統計学会に設けた各賞の選考委員会が、会員の推薦を受けて実施する。

〔発表〕

各選考委員会は選考結果を日本統計学会社員総会及び会員大会に報告し、大会期間中に授賞式を行う。

○各賞の概要

日本統計学会賞

[趣旨]

統計学の研究および普及に対して貢献した個人に対して授与し、その功績を顕彰する。

[対象範囲]

対象とする分野は次のとおりとし、全体として年間3名程度に授与する。

理論：統計学の理論の発展に多大の貢献のあった者

実証・応用・計算：この分野は以下のような内容を含む。

- (1) 人文・社会系では、経済、経営の実証分析、社会学、言語学、心理学の調査・分析など、統計的手法を利用して社会的現象を解明するのに貢献のあった者。
- (2) 医学、工学、農学、理学などでは統計的手法の適用による具体的な問題の解決に対する貢献のあった者。
- (3) 統計計算では、統計的分析のためのアルゴリズム・ソフトウェアの開発に貢献のあった者。
- (4) 応用一般として、分野を問わず統計調査の標本設計、経営管理などで貢献のあった者。

その他：理論・実証・応用などを含め、幅広く統計学の普及・発展に貢献した者。

[推薦・選考方法]

推薦者は所定の書式にしたがって、対象範囲に定められた分野のいずれかに候補者を推薦する。

選考委員会の構成は以下の通りとする。

- ・ 日本統計学会会長、前会長、理事長、会誌編集担当理事2名、及び会長が推薦し社員総会が承認した者若干名。
- ・ 選考委員会委員長は、原則として日本統計学会会長が務める。

[賞の内容]

賞状および記念品などの副賞を授与する。

日本統計学会統計活動賞

[趣旨]

研究や教育に限らず、広く統計学及び統計の分野において高く評価しうる活動を顕彰する。

[対象範囲]

授賞の対象は、次に掲げる分野の活動である。

- (1) 統計学及び統計を支える基盤の充実・高度化（統計関連領域の研究・教育組織の設立、実務家へのサポート、統計に関する企画・推進等）。

- (2) 研究・教育のための環境整備に対する貢献（ソフトウェア、データ・ベースの開発及び支援等）。
- (3) 新たな研究領域・分野の開拓。
- (4) 新たな統計の作成（個人、グループ・団体等による統計の作成と継続、及び作成機関における従来活動を超えた取組み等）。

授賞対象は、毎年2件以内とする。

[選考方法]

選考委員会の構成は以下の通りとする。

- ・ 日本統計学会会長、前会長、理事長、学会活動特別委員会委員長、及び会長が推薦し社員総会が承認した者若干名。
- ・ 選考委員会委員長は、原則として日本統計学会会長が務める。

[賞の内容]

受賞対象となる活動を担った個人又はグループ・団体には、賞状及び賞牌を授与する。

日本統計学会統計教育賞

[趣旨]

統計教育の研究及び実践において顕著な業績を挙げた個人又は団体を顕彰し、わが国の統計教育の発展並びに統計の普及、啓蒙に貢献することを目的とする。

[対象範囲]

授賞の対象となる者は、次に掲げる分野において多大の貢献のあった個人又は団体とする。

- (1) 統計教育に関する著書、論文
- (2) 統計教育の実践
- (3) 統計教育に用いるソフトウェア、テキスト、教材等の開発
- (4) 統計の普及、啓蒙
- (5) その他統計教育の発展に寄与する活動

授賞対象者は、毎年2名以内とする。

[選考方法]

選考委員会の構成は以下の通りとする。

- ・ 日本統計学会会長、前会長、理事長、統計教育委員会委員長、及び会長が推薦し社員総会が承認した者若干名。
- ・ 選考委員会委員長は、原則として日本統計学会会長が務める。

[賞の内容]

受賞者には、賞状及び賞牌を授与する。

日本統計学会研究業績賞

〔趣旨〕

統計学及びその関連分野において優れた研究業績をあげた個人を顕彰し、わが国の統計学の発展に貢献することを目的とする。

〔対象範囲〕

授賞の対象は、次に掲げるいずれかの要件を満たす研究活動の成果とする。

(1) 各年の日本統計学会誌掲載論文であって、若手の統計学研究者の奨励を趣旨とした「日本統計学会小川研究奨励賞」の対象とはならない論文。

(2) 日本統計学会に所属する会員が、過去3年程度に内外の統計学関連の学術誌上で出版した複数あるいは単独の論文。

(3) 統計学に関する図書、ならびに統計学関連の研究成果を著した図書。

授賞対象は、毎年2件程度とする。

〔選考方法〕

選考委員会の構成は以下の通りとする。

- ・ 日本統計学会会長、前会長、理事長、会誌編集担当理事2名、及び会長が推薦し社員総会が承認した者若干名。
- ・ 選考委員会委員長は、原則として日本統計学会会長が務める。

〔賞の内容〕

受賞者には、賞状及び賞牌を授与する。

日本統計学会出版賞

〔趣旨〕

統計学及びその関連分野において優れた図書（研究、教育あるいは啓蒙）を出版した著者、訳者あるいは出版社を顕彰し、わが国の統計学の発展に貢献することを目的とする。

〔対象範囲〕

審査の対象は、次に挙げるいずれかの要件を満たすものとする。

- (1) 著者、編者あるいは訳者として、過去5年程度に刊行された統計学に関連する研究、教育あるいは啓蒙上の図書。
- (2) 過去5年程度に刊行された統計学に関する出版企画。

授賞件数は毎年2件以内とする。

[選考方法]

選考委員の構成は以下の通りとする。

- ・ 日本統計学会会長、前会長、理事長、会誌編集担当理事2名、及び会長が推薦し社員総会が承認した者若干名。
- ・ 選考委員会委員長は、原則として日本統計学会会長が務める。

[賞の内容]

受賞者には、賞状及び賞牌を授与する。